

平成24年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年6月30日

上場会社名 株式会社メディカルー光 上場取引所 大
 コード番号 3353 URL <http://www.m-ikkou.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)南野 利久
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役副社長 (氏名)西井 文平 (TEL)059-226-1193
 四半期報告書提出予定日 平成23年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第1四半期の連結業績(平成23年3月1日～平成23年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第1四半期	4,854	8.0	336	43.5	319	45.8	169	24.2
23年2月期第1四半期	4,495	5.1	234	△7.7	219	△1.8	136	28.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第1四半期	8,866 23	—
23年2月期第1四半期	7,094 19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第1四半期	13,142	3,774	28.7	197,552 06
23年2月期	12,624	3,709	29.4	194,121 44

(参考) 自己資本 24年2月期第1四半期 3,774百万円 23年2月期 3,709百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	0 00	—	4,000 00	4,000 00
24年2月期	—	—	—	—	—
24年2月期(予想)	—	0 00	—	4,000 00	4,000 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,108	2.1	505	10.5	463	8.0	235	△4.1	12,336 74
通期	18,486	2.9	1,023	3.5	943	1.3	488	△4.8	25,556 13

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期1Q	20,350株	23年2月期	20,350株
24年2月期1Q	1,243株	23年2月期	1,243株
24年2月期1Q	19,107株	23年2月期1Q	19,233株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第1四半期連結累計期間】	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年3月1日～平成23年5月31日）におけるわが国経済は、企業業績に改善の兆しが見られていたものの、甚大な被害をもたらした東日本大震災により、サプライチェーンの障害など供給面の制約が続き、厳しさを増す雇用環境に加え、個人消費の低迷や設備投資の落ち込みなど、景気の先行きに不透明さが増す中で推移いたしました。

このような状況の中で、当社の主力とする調剤薬局事業におきましては、安全性を最優先し患者様に選ばれる店舗運営を推進するとともに事業規模の拡大に向け取り組んでまいりました。ヘルスケア事業におきましては、介護付有料老人ホームを今後の成長エンジンと位置づけし、3年間で10施設の開設を目標として、安定的な成長に向けて取り組んでまいりました。また、医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品の使用促進が図られている状況下、積極的な営業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,854百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益336百万円（前年同期比43.5%増）、経常利益319百万円（前年同期比45.8%増）、四半期純利益169百万円（前年同期比24.2%増）と増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（調剤薬局事業）

調剤薬局事業におきましては、前期に出店した店舗の売上増加に加え、既存店において処方箋応需枚数、薬剤料、技術料が前年同期を上回ることができたことから、売上高は4,462百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益405百万円（前年同期比36.1%増）と増収増益となりました。

（ヘルスケア事業）

ヘルスケア事業におきましては、既存施設3施設の入居率が高く維持できたことに加え、前期に開設した介護付有料老人ホーム2施設も計画どおり進捗したことから、売上高203百万円（前年同期比52.9%増）となりました。営業利益は新規施設への費用を計上したため11百万円（前年同期比8百万円減）となりました。

（医薬品卸事業）

医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品の使用促進が進められている状況を好機と捉え、営業活動の強化を図り販売数量を伸ばすことで、売上高168百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益15百万円（前年同期比4百万円増）となりました。（内部売上高を含む売上高は239百万円となり前年同期比7.9%増）

（不動産事業）

不動産事業におきましては、安定した賃料収入により売上高19百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益10百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

なお、セグメント間の内部売上高として71百万円を消去するとともに、全社における共通経費として106百万円を計上しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は13,142百万円となり、前連結会計年度末と比較し518百万円増加いたしました。

流動資産の合計は5,294百万円となり、前連結会計年度末と比較して104百万円増加いたしました。これは主に、売掛金の増加128百万円によるものです。

固定資産の合計は7,847百万円となり、前連結会計年度末と比較して414百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産の増加185百万円、投資有価証券の増加263百万円によるものです。

負債総額は9,367百万円となり、前連結会計年度末と比較して452百万円増加いたしました。これは主に買掛金の増加302百万円、賞与引当金の増加98百万円によるものです。

純資産は3,774百万円となり、前連結会計年度末と比較して65百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益169百万円、配当金の支払額76百万円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は2,182百万円となり、前連結会計年度末と比較して143百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、368百万円となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益306百万円、仕入債務の増加302百万円であり、主な減少要因は、売上債権の増加128百万円、法人税等の支払額247百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、487百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出220百万円と、投資有価証券の取得による支出305百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は24百万円となりました。主な要因は、配当金の支払額76百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績予想につきましては、平成23年4月6日公表の数値から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、一部実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、原則的な方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に大幅な経営環境の変化がないこと、また、一時差異等の発生状況に著しい変化がないことが認められるので、前連結会計年度末に使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ587千円減少し、税金等調整前四半期純利益は13,888千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は42,213千円であります。

② 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,182,806	2,333,806
売掛金	2,062,273	1,934,136
商品	834,076	767,827
その他	216,682	155,935
貸倒引当金	△1,000	△1,100
流動資産合計	5,294,838	5,190,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,699,115	2,710,223
土地	1,883,856	1,883,856
その他（純額）	565,300	369,108
有形固定資産合計	5,148,272	4,963,188
無形固定資産		
のれん	892,203	912,302
その他	137,181	113,355
無形固定資産合計	1,029,385	1,025,658
投資その他の資産		
投資有価証券	578,189	314,325
敷金及び保証金	445,325	495,576
その他	646,541	634,945
投資その他の資産合計	1,670,056	1,444,847
固定資産合計	7,847,713	7,433,694
資産合計	13,142,552	12,624,299
負債の部		
流動負債		
支払手形	6,565	6,727
買掛金	2,691,724	2,388,825
1年内返済予定の長期借入金	1,307,976	1,293,389
未払法人税等	182,211	256,576
賞与引当金	199,151	100,615
その他	401,630	375,943
流動負債合計	4,789,260	4,422,078
固定負債		
長期借入金	4,108,653	4,070,523
退職給付引当金	278,096	270,512
その他	191,914	152,106
固定負債合計	4,578,664	4,493,142
負債合計	9,367,924	8,915,221

（単位：千円）

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	2,251,691	2,158,712
自己株式	△209,633	△209,633
株主資本合計	3,796,108	3,703,129
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△21,480	5,949
評価・換算差額等合計	△21,480	5,949
純資産合計	3,774,627	3,709,078
負債純資産合計	13,142,552	12,624,299

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
売上高	4,495,098	4,854,298
売上原価	4,022,310	4,269,414
売上総利益	472,788	584,883
販売費及び一般管理費	238,552	248,705
営業利益	234,236	336,178
営業外収益		
受取利息	309	232
受取配当金	8	12
受取保証料	477	405
不動産賃貸料	204	156
助成金収入	1,648	3,109
その他	2,029	921
営業外収益合計	4,677	4,836
営業外費用		
支払利息	17,875	18,996
その他	1,866	2,479
営業外費用合計	19,741	21,476
経常利益	219,172	319,538
特別利益		
固定資産売却益	—	57
投資有価証券売却益	31,732	—
貸倒引当金戻入額	—	100
受取補償金	5,238	—
特別利益合計	36,970	157
特別損失		
固定資産除却損	1,464	135
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,301
特別損失合計	1,464	13,437
税金等調整前四半期純利益	254,677	306,258
法人税、住民税及び事業税	155,752	184,352
法人税等調整額	△37,523	△47,500
法人税等合計	118,228	136,851
少数株主損益調整前四半期純利益	136,448	169,407
少数株主利益	—	—
四半期純利益	136,448	169,407

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	254,677	306,258
減価償却費	54,134	65,316
のれん償却額	19,908	20,099
賞与引当金の増減額（△は減少）	93,461	98,535
退職給付引当金の増減額（△は減少）	12,206	7,583
受取利息及び受取配当金	△318	△244
支払利息	17,875	18,996
投資有価証券売却損益（△は益）	△31,732	—
固定資産売却損益（△は益）	—	△57
固定資産除却損	1,464	135
売上債権の増減額（△は増加）	△56,105	△128,137
たな卸資産の増減額（△は増加）	△17,318	△66,248
仕入債務の増減額（△は減少）	277,308	302,737
その他	△66,816	8,560
小計	558,744	633,536
利息及び配当金の受取額	27	30
利息の支払額	△17,942	△18,475
法人税等の支払額	△255,321	△247,005
営業活動によるキャッシュ・フロー	285,508	368,086
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△79,971	△220,484
無形固定資産の取得による支出	△3,113	△16,930
投資有価証券の取得による支出	—	△305,859
投資有価証券の売却による収入	94,596	—
長期前払費用の取得による支出	△400	△1,152
差入保証金の差入による支出	△20,230	△1,532
差入保証金の回収による収入	3,760	50,985
長期未収入金の増加による支出	—	△358
長期未収入金の回収による収入	—	10,000
預り金の増減額（△は減少）	—	△8,290
その他	△1,919	6,137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,278	△487,485
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△293,880	△347,283
リース債務の返済による支出	△276	△828
自己株式の取得による支出	△9,847	—
配当金の支払額	△67,368	△76,428
財務活動によるキャッシュ・フロー	△271,371	△24,539
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	6,859	△143,938
現金及び現金同等物の期首残高	1,891,018	2,326,744
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,897,877	2,182,806

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)

	調剤薬局 事業 (千円)	医薬品卸 事業 (千円)	ヘルスケア 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,177,952	165,076	133,377	18,692	4,495,098	—	4,495,098
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	56,997	91	—	57,088	(57,088)	—
計	4,177,952	222,073	133,469	18,692	4,552,187	(57,088)	4,495,098
営業利益	297,673	11,270	19,628	10,248	338,820	(104,584)	234,236

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の事業の内容

- (1) 調剤薬局事業・・・・・・処方箋受付専門の医薬品の販売を行っております。
- (2) 医薬品卸事業・・・・・・医療機関等へ医薬品の販売を行っております。
- (3) ヘルスケア事業・・・・・・介護施設の運営、医療施設等の賃貸業務、及び医療・介護に付随する業務を行っております。
- (4) 不動産事業・・・・・・一般不動産を所有し賃貸業務を行っております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、商品の内容と事業の形態及びサービスの性質を考慮して事業部及び子会社を置き、事業部及び子会社は、推進する事業について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、事業及びサービスを基礎とした、「調剤薬局事業」、「ヘルスケア事業」、「医薬品卸事業」、「不動産事業」の4つを報告セグメントとしております。

「調剤薬局事業」は調剤薬局の経営を、「ヘルスケア事業」は介護施設の運営、医療施設等の賃貸業務、及び医療・介護に付随する業務を、「医薬品卸事業」は医療機関等への医薬品の販売を、「不動産事業」は一般不動産の賃貸業務を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,462,624	203,932	168,706	19,035	4,854,298	—	4,854,298
セグメント間の内部 売上高又は振替高	950	91	70,927	—	71,969	△71,969	—
計	4,463,575	204,023	239,633	19,035	4,926,267	△71,969	4,854,298
セグメント利益	405,265	11,391	15,592	10,224	442,473	△106,295	336,178

(注) 1 セグメント利益の調整額△106,295千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用107,808千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。